

子どもたちはこんな危険にさらされています！！

保護者のみなさまへ

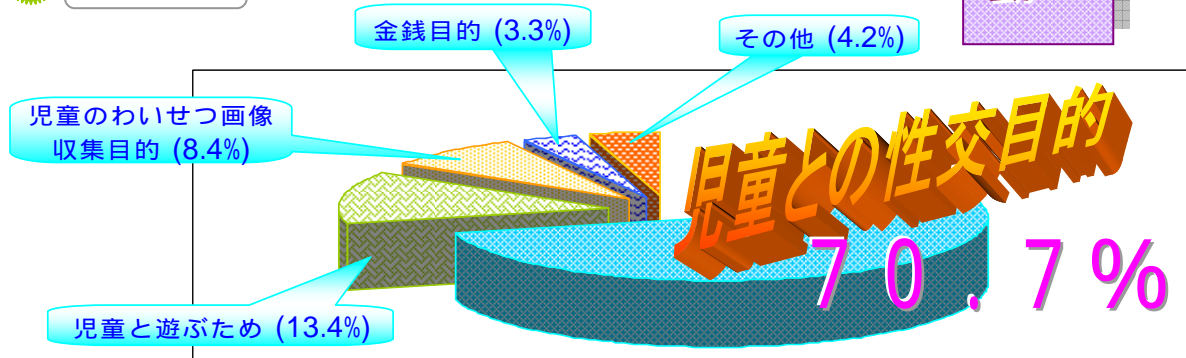
携帯電話の問題から
子どもを守る3つ運動

近年、出会い系サイトに起因する児童（ ）被害の事犯が減少する一方、コミュニティサイト(出会い系サイトを除く。)に起因する事犯が大幅に増加しています。
(児童とは、18歳に満たない者をいう。)

1 福祉事犯等で検挙された者の状況



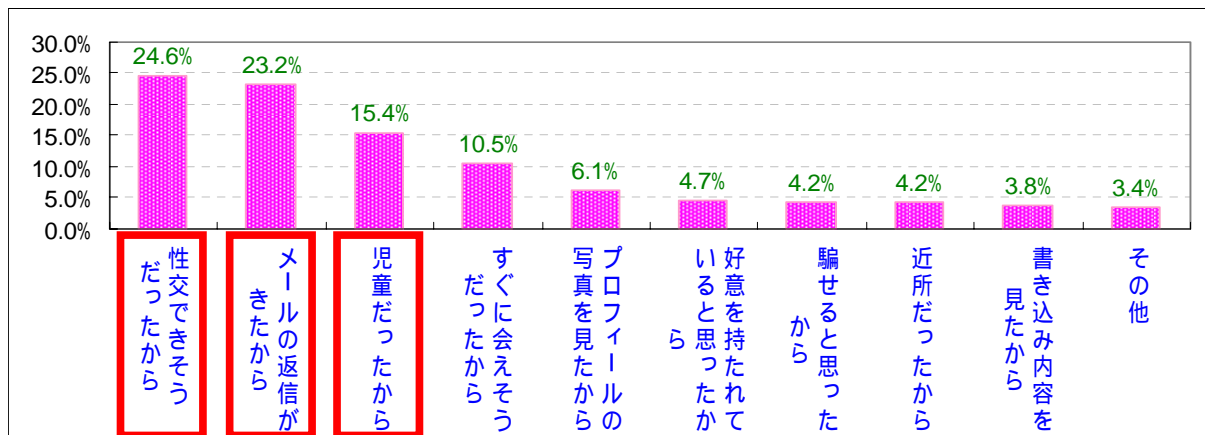
犯行動機



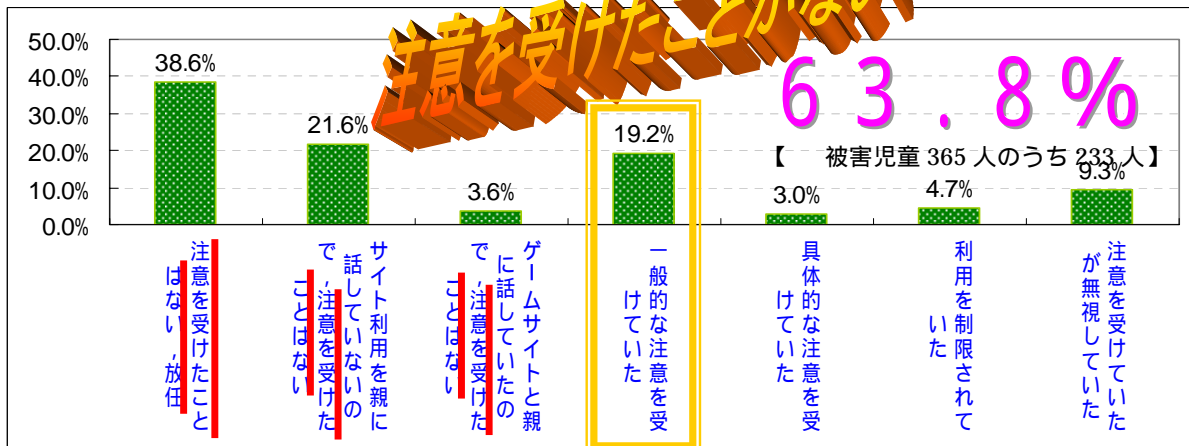
【 検挙した福祉事犯等 811 件のうち 573 件】



被害児童を選んだ理由



2 被害児童に対する保護者の指導状況



【参考資料】警察庁広報資料平成 23 年 5 月 19 日

コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析について(平成 22 年下半期)

ケータイは、本当に必要？

学校には、携帯電話は必要ありません

携帯電話に係る様々な問題からお子さんを守るために

携帯電話をめぐるトラブルから守る

携帯電話への依存から守る

時間・金銭の浪費から守る

4

つの提案

「携帯電話等に係る啓発活動推進会議」からの

学校

学校には、携帯電話の持ち込みをやめましょう

携帯電話を学校へ持ち込まないことへの指導を徹底します。

携帯電話に係る様々な問題点やトラブル事例等を児童生徒に周知します。

学校では、発達段階に応じた情報モラル教育を徹底しましょう

各教科の授業等で、プライバシーの保護、著作権の尊重、サイバー犯罪への対応等について指導します。

保護者

家庭では、保護者が子どもの携帯電話に責任を持ちましょう

携帯電話が本当に必要かどうかをしっかりと検討するとともに、子どもに携帯電話を持たせる場合には、必ずフィルタリング機能を付加するなど、保護者が責任を持ちましょう。

家庭では、わが家の「ケータイルール」を作りましょう

子どもに携帯電話を持たせる場合には、家庭における使い方をお子さんと十分話し合い、家族でルールを作りましょう。